

1996.12.22

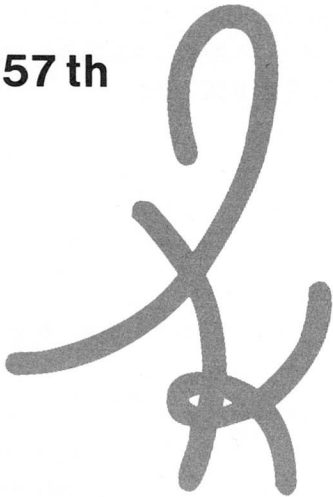
市川市文化祭

ファミリー交響楽 コンサート

平成8年
1996年

12月22日(日) 2時開演
市川市文化会館大ホール

257 th



主催：市川市教育委員会 市川交響楽団協会

55.51.2991

プログラム

歌劇「ヘンゼルとグレーテル」前奏曲
“Hänsel and Gretel”Prelude

E.フンパーディンク
E. Humperdinck (1854-1921)

演奏時間：約8分

ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品61
Konzert für Violine D-dur op.61

L.v.ベートーヴェン
L. van Beethoven (1770-1827)

第1楽章 アレグロ マノン トロッポ
Allegro, ma non troppo

第2楽章 ラルゲット
Larghetto

第3楽章 ロンド アレグロ
Rondo Allegro

演奏時間：約42分

—— 休 憩 ——

組曲「惑星」抜粋
“The Planets”

G.ホルスト
Gustav Holst (1874-1934)

第1曲 火星、戦争をもたらす者
Mars, the Bringer of War

第2曲 金星、平和をもたらす者
Venus, the Bringer of Peace

第4曲 木星、陽気さをもたらす者
Jupiter, the Bringer of Jollity

第6曲 天王星、魔術師
Uranus, the Magician

第7曲 海王星、神秘なる者
Neptune, the Mystic

演奏時間：約45分

指 揮	石本 由香利
ヴァイオリン独奏	豊田 弓乃
女 声 合 唱	コール・シュティンメ コーロ・チャット
合 唱 指 揮	橋本 久喜
管 弦 楽	市川交響楽団

打楽器協力：パール楽器製造(株)

出 演 者 紹 介



ヴァイオリン 豊田 弓乃

ケルンに生まれる。幼少よりヴァイオリンを著名ヴァイオリニストであり父親である豊田耕児に、ピアノを母元子より手ほどきを受ける。全ドイツ青少年音楽コンクールのヴァイオリン部門で優勝。またスタインウェイ・ピアノコンクールに1位入賞。11才にてパリ王立音楽院に入学。ヴァイオリンをジェラルド・ジャリ教授、室内楽をジュヌヴィエール・ジョワ女史に師事。1978年同学院の修士号を得て首席で卒業。その後、メニューイン、キンゴルトド、セポックの各氏のもとで研鑽を積む他、ナタン・ミルシュタイン・チューリッヒ講座に5年連続参加。16才にてルツェルン国際音楽祭ヴァイオリン・リサイタルに出演、好評を博す。その後長年にわたりアルトゥール・グルーミオ教授に師事。ジュネーヴ国際コンクール最高位入賞(1位なしの2位)の他、数多くのコンクールに上位入賞、注目を集める。バンベルグ交響楽団のコンサートマスターを経たのち、1988年ベルリン放送交響楽団に移り、同時に「ベルリン弦楽三重奏団」を結成し、定期的に演奏活動をする。その後、1991年からのローザンヌ室内管弦楽団の首席コンサートマスターを経て、現在はドイツのハイルブロン市ヴェルテンベルグ室内合奏団の首席コンサートマスターとして活躍している。



指揮 石本 由香利

1986年、東京音楽大学指揮科卒業。指揮を三石精一氏、理論を有馬礼子氏に師事。同大学研究科を経て、ベルリン芸術大学指揮科へ留学。指揮をH.M.ラーベンシュタイン教授、オペラ伴奏法をR.ヴォルフ教授に師事。1991年同大学を卒業。在学中よりベルリン交響楽団、ハレッシェ・フィルハーモニー、ベルリン放送交響楽団、グライツ交響楽団などと共演。現在、ベルリン市民弦楽合奏団常任指揮者の傍ら、公立音楽学校のピアノ伴奏者として活躍中。

市響には1994年3月の「室内楽の午後」に初出演、続いて1995年の「室内楽の午後」に出演、同年4月にベルリン市民弦楽合奏団メンバーの日本旅行に同行し、市響との国際親善コンサートを指揮。オーケストラ練習の時の適切で解りやすい指示は団員に好評で、今回の演奏会の指揮をお願いすることとなった。

管弦楽 市川交響楽団

本年創立45周年を迎え、現在のメンバーは120余名、年齢構成は20代から70代の広い年齢層にわたり、職業も会社員、教師、主婦など多彩で、千葉県市川市で開かれる演奏会を中心に全国各地で開催される文化事業や、オーケストラフェスティバル等にも出演し、演奏を披露しています。

著名な音楽家との共演も多数経験しているほか、地元市川市ゆかりの音楽家との共演を通じて地域文化の振興にも力を入れています。

また、市川混声合唱団、市川交響吹奏楽団、行徳混声合唱団、市響ジュニアオーケストラとともに市川交響楽団協会を構成し、クラシック音楽をより多く市民に楽しんでもらえるよう活動しています。

1999年8月には海外からの参加者も交えた「全国アマチュアオーケストラフェスティバルIN市川'99」が、市川市で開催決定となり、ホストオーケストラとしての準備が始まっています。

曲 目 解 説

歌劇「ヘンゼルとグレーテル」前奏曲

E. フンパーディンク

毎年12月が近づくと、ドイツの都会の子供たちはある事が待ち遠しくなります。それは、サンタクロースが持ってくるクリスマスプレゼントのほかにもうひとつ、両親に歌劇場へ連れて行ってもらってバレエやオペラを見ることです。

出し物は、バレエならチャイコフスキーの「くるみ割り人形」、オペラならフンパーディンクの「ヘンゼルとグレーテル」、どちらも絵本で何回も読んでもらって学習済み。普段は親たちがオペラに行く夜は家で留守番をしている子供たちも、この日ばかりはちょっと大人になった気分です。

大きい石の階段を上がって歌劇場の中に入ると、高い天井からぶら下がっている大きなシャンデリア、客席のたくさんの椅子。決められた自分の席に座って開演を待ちます。よく見るとオーケストラピットの中にも、歌劇場関係者の子供たちが招待されすわっています。

開演の鐘が鳴り、ホールの中が真っ暗になりました。舞台がどうなっているのかも見えずちょっと心配です。やがてライトに照らされて拍手の中、指揮者が登場し前奏曲が始まります。

最初の静かなホルン四重奏はこのオペラの中心となる「夕べの祈り」のテーマ、次第に夜が明けて「お菓子の家」が現れヘンゼルとグレーテルの楽しそうな様子、恐ろしそうな「魔女」のテーマも少しずつ聞こえてきます。曲はどんどん盛り上がり、魔女に捕まってお菓子里にされていた子供たちが助け出され、喜んでいる様子が表わされます。

前奏曲を聴くのがちょっと退屈になった頃、ふと舞台の上を見ると真っ暗だったところに小さな家が現れ、なかでお兄さんのヘンゼルがハウキ作りを、妹のグレーテルが靴下のつくろいをしているところのようです。さあ、歌劇「ヘンゼルとグレーテル」第1幕第1場の始まりです。

ヴァイオリン協奏曲 二長調

ベートーヴェン

先日、某音楽雑誌の「あなたの好きな作曲家は？」でモーツァルト、ブラームスを僅差で押さえて、第1位になったベートーヴェン。そういえば今年12月は交響曲第9番「合唱付」が日本各地で毎日のように演奏されています。さてこのベートーヴェン、交響曲の始めかたにいろいろな趣向がみられます。

第9番は長調とも短調とも決められない「ド」と「ソ」の空5度で始まる神秘型。

第3番「英雄」、第5番「運命」はいきなり曲のエッセンスを叩きつける強打型。

第6番「田園」、第8番は前置きなしですぐに本題に入る型。

ほかの4つの交響曲は比較的長い序奏がついて、手紙でいえば時候の挨拶がしっかりついていると言うところでしょうか。

これから演奏するヴァイオリン協奏曲二長調はティンパニの「レ」の音4つではじまります。

何気ないようですがこれが打楽器奏者にとってはすこし緊張するところでもあります。

自分で調律した音の高さは？ 「トン、トン、トン、トン」の速さは？ 大きさは？ 硬い音それとも柔らかい音？ あとにつづくオーボエにうまく引継ぎができるか？

ともあれ、これが始まらないとすばらしいソリストの独奏も聴けないわけで。

(注 市響の打楽器奏者にプレッシャーをかけているわけではありません)

しっかりした構成を持ち、後半にたっぷりカデンツァの聴ける第1楽章

ベートーヴェンの協奏曲の中でも代表的な美しい旋律の一つとされる第2楽章

8分の6拍子のリズムの中で楽しそうに独奏ヴァイオリンが踊る第3楽章。

ごゆっくりお聴き下さい。

G.ホルストは1874年のイギリス生まれで、1893年にロンドンの王立音楽大学に入学しトロンボーン奏者、音楽教師を務めた後、母校の作曲科教授となりました。

ホルストは当時イギリスで流行していた民族音楽の研究をおこなったほか東洋哲学にも深い関心を寄せ、その研究に基づく趣の異なった作品を残しています。

大オーケストラのための組曲「惑星」(1914-1916)は彼の残した代表作として演奏される機会の多い作品で、友人からの影響を受けて占星術に興味を示し、それぞれの惑星の性格をもとにこの作品を創作したといわれています。

「惑星」は7曲からなる組曲でそれぞれに惑星の名前とその性格がつけられています。

現在、発見されている太陽系の惑星は地球を除いて8つですが、太陽から一番遠い「冥王星」が発見されたのは、ホルストがこの作品を完成した15年後のことになります。

尚、今回の演奏では時間の関係で、「第3曲 水星、翼のある使者」と「第5曲 土星、老いをもたらすもの」は、省略しております。

第1曲 火星、戦争をもたらす者

天空で赤く不気味に輝き、戦いの象徴とされる「火星」を5拍子のリズムと符点音付の上昇のかたちであらわし、激しい戦闘を思い出させます。

第2曲 金星、平和をもたらす者

明けの明星、宵の明星と言われている「金星」は愛と平和をあらわし、ホルンのソロに始まるこの曲はフルート、ヴァイオリン、オーボエを経てチェレスタのきらめきの中で静かに消えてゆきます。

第4曲 木星、陽気さをもたらす者

組曲「惑星」の中でももっとも有名なこの曲は、リズムや旋律が明快でしばしば単独でも演奏されます。ヴァイオリンの動きの中で、ホルン群が華々しい和声を作り、中間部はこの組曲全体の頂点を築き上げています。

太陽系の中でもっとも大きく穏やかな光を発している「木星」を幸福と快樂の象徴としてあらわしたものです。

第6曲 天王星、魔術師

比較的新しく発見された「天王星」はその様子がはっきりせず、「魔術師」と示されています。

金管のファンファーレ、ティンパニの強打、デュカスの交響詩「魔法使いの弟子」に似ているファゴットの動き、オーケストラ全体のユニゾンによる中間部、弦とハープの掛け合いになる静かな終曲部など、ひとつの曲の中で色々な表現が現れます。

第7曲 海王星、神秘なる者

当時、太陽から一番遠い惑星だった「海王星」を神秘の星としてあらわしています。

フルートに始まり、神秘性を保ちながら曲が進んで行くなかで、バスフルート、バスオーボエ、コントラファゴットなど低音域の特殊な木管楽器の音色を聴く事が出来ます。

後半の部分は舞台裏の女声合唱が6つのパートに別れて歌詞の無い旋律を歌い、チェレスタ、ハープと弱音器をつけた弦楽器、バスフルートの下降音形を経て女声合唱のみが遠い宇宙に消え入るように静かに曲を閉じます。

本日の出演者

第1ヴァイオリン

亀井 玲子
鈴木 薫
鈴木 淳子
竹内 甲
堂本 祐司
永田 匡
二宮 伸雄
福原 亜希
福原 祥子
松延 裕子
松山 和子
村田いずみ
渡辺 昭子

第2ヴァイオリン

石本 恵理
木本 幸子
小林 千晶
須永 恒雄
堤 哲児
崎田真美子
根守 弘和
久田しげ子
平野 弘子
三木美千子
溝田 範子
村上 葉子
村田 康代
横田佐貴絵

ヴィオラ

浅野さとみ
岩本 泰
内田 綾美
斎藤十一郎
竹内ひとみ
奈良林弘子
星 乗昭
村上 賢一
横田 行雄
若林 繁
渡部 玲子

チェロ

池田 寛之
角川 総一
倉沢 由和
沢田 恵子
瀬川 清
田頭 扶
中村 公一
南明由美子
根岸 朋子
樋口 進
福原 耕二
横田 朝之

コントラバス

池田 和正
菊池 克彦
鈴木 重則
長谷川隆子
村上 信乃
八鍬 健
石本 弾

ピッコロ・フルート

バスフルート

佐藤 洋行
木村 純一
木村真諭紀
篠原 梨絵
Amy Swift

オーボエ

コール・アングレ

バスオーボエ

鈴木 宏子
高橋 勇美
二村 直子
山地 順子

クラリネット

バスクラリネット

一瀬 直美
井垣 貴嗣
多田 準也
時田 雄
半藤 嗣人
吉野 智久

ファゴット

コントラファゴット

金坂 哲
菅原 斉
古屋 文弘
吉儀富貴子

ホルン

越塚 康央
近藤 利昭
嶋村 恒夫
林田 朋子
藤井 茂司
山本 恭子
山内 正晴

トランペット

安藤 宣明
一柵 泰一
近藤 悦子
新井本昌宏
大津留史郎

トロンボーン

久保 昭
佐野 義人
藪崎 裕至

テナーチューバ

榎木 博之

チューバ

谷口 浩

打楽器

岩橋 正治
瀬川 順子
谷口 仁美
都筑 裕
甲田 智浩
市原 秀彦

ハープ

小橋かおり
小橋ちひろ

オルガン

枝 久美子

チェレスタ

半藤 陽子

女声合唱 コール・シュティンメ

千葉県に在住している国立音楽大学卒業の有志によるグループです。大学時代の専攻はいろいろですが、声を合せ、音を合せ心を合せ、そして音楽的に表情豊かにと、週一回浦安市の中央公民館で練習を重ねています。創立10年。橋本久喜先生、節子先生の御指導のもと、厳しくもあり、やさしくもあり、楽しく音作りに励んでいます。昨年ひきつづき、本年10月の市響「合唱の集い」にも出演しました。今回は、天から星が降るような幻想的なハーモニーをクリスマスに近い日に唱うことが出来ますことを、団員一同喜んでおります。

ソプラノ	有馬 歩	有馬 敬子	菊地 陽子	小林 千絵	関 光子
メゾソプラノ	赤松登美子	宇都宮和子	折茂 恵子	野口留美子	畑野かん奈
アルト	飯島 佳子	及川美智子	小畑 供枝	柳井 和美	
指揮者	橋本 久喜				
ピアノ	橋本 節子				

女声合唱 コーロ・チャット

8年前、杉並の片隅で歌とおしゃべりの好きなお母さんたちが集まって、楽しく歌う会として発足しました。途中メンバーの入れ替わりがありました。昨年10月、第3回定期演奏会を、武蔵野文化センターで行うことで、団員のコーラスへの意識が高まり、指揮者・大内葉子氏の選曲と指導に魅力を感じる新しいメンバーがさらに加わり、運営に当たる者、翻訳部など、それぞれ特技を生かして分担しています。現在は来年11月9日のカザルス・ホールでの第4回定期演奏会に向けて、練習に励んでいます。発声、コーラスのひびきを中心に女声コーラスのすばらしさを楽しんでいきたいと、団員一同はりきっています。宗教音楽を中心に、イギリスの歌などを歌っています。歌うことによって何か役にたてればと、演奏会の売り上げの中から世界の子供たちの為に献げさせて頂いています。

ソプラノ	岡崎はるみ	岩本 尚美	遠藤真知子	北井 京
	大内 葉子	筒井 雅枝	水野 文子	古江 稔子
メゾソプラノ	安西佳代子	福本 史子	嶋本 洋子	所司 淳子
	大川 史子	川上 孝子	五十嵐祐子	川手 章子
アルト	石川 雅美	中山 真理	服部 範子	
	江崎すみこ	井上 明香	細野 昌子	山田 順子

楽器の街お茶の水で創業59年の信頼と実績
～バイオリン・管楽器・打楽器・ピアノなど総合楽器専門店～

シモクラミュージックグループ

 **下倉バイオリン社**
SHIMOKURA VIOLIN Co.
〒101 東京都千代田区神田駿河台2-2 TEL. 03-3294-7706代

お茶の水
下倉楽器

●球の水本 千101 千代田区神田駿河台2-2 TEL (03)3293-7706代
●大宮店 千330 大宮市大門町2-92 TEL (048)643-6500代
●八王子店 千192 八王子市横山町3-10 TEL (0426)46-7706代
●中古楽器専門店
セカンドハンズ 千101 千代田区神田神保町1-6 TEL (03)3295-4611代